

系数たかこ 那覇市議会活動報告

発行:系数貴子

住所:〒902-0066 那覇市大道169-4 コーポ花城B-102 すぱーす・結内

電話:080-3903-2948(携帯)

Eメールアドレス:itokazu.takako@space-yui.com

後援会ホームページ:https://itokazu-takako.com



年4回、議会(定例会)終了後に発行予定です。ご意見・ご感想などお待ちしております。

facebook



twitter



Instagram



系数たかこ 活動報告



社会新報

1・1
【土曜日】
2022
号 外

発行所

社会民主党全国連合
機関紙宣伝局

〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1
電話代表 03(3582)7515・直通 00140-1-3203
●定価180円 ●1ヶ月700円
●送料160円

2号



活動報告は紙面ではなく、EメールでPDFを送ることもできます。Eメール受信に変更したい方は、上記メールアドレス宛に、お名前と現在通信を受け取っているご住所、PDFデータでの通信受け取りに変更したい旨ご連絡ください。



2022年、復帰50年の節目の年がスタートしました。戦争につながる米軍基地、自衛隊基地など50年前と変わらない現状を打開していく年にしたいです。昨年は私にとって激動の年でした。今年も歩みを止めることなく、「一人ひとりが大切にされるのびやかな社会」をつくるために頑張ります。今年もどうぞよろしくお願ひします。今号は、11月26日から12月22に行われた那覇市議会百周年記念議会の報告をします。写真は、議場での記念式典の様子です。

一般質問

12月6日

産後ケア事業

事業目的と対象者の要件について伺う。

答 弁 出産に伴う心身の不調や育児不安等があり、家族等から十分な支援が得られない産後1年以内の母子を対象に、訪問型の支援を実施するもの。

たかこ質問 浦添市にある産後ケア施設を見学した。浦添だけでなく、宜野湾市やうるま市その他の産後ケア事業の対象施設となっており、とてもリラックスできる空間だった。利用者の約30%が那覇市の人だという。このような市外の施設も含めた通所型、宿泊型の導入など、制度の拡充について伺う。

助産師が産婦の自宅を訪問し、生活場面や育児環境に合わせた具体的な育児見手技や心身の回復に必要な助言・心理的ケア等を、母子の状況に合わせ、おむね2回までできるものとし、1回当たり2時間から3時間実施している。

浦添市にある産後ケア施設を見学した。浦添だけでなく、宜野湾市やうるま市その他の産後ケア事業の対象施設となっており、とてもリラックスできる空間だった。利用者の約30%が那覇市の人だという。このような市外の施設も含めた通所型、宿泊型の導入など、制度の拡充について伺う。

令和4年度以降、本市においても産後ケア事業の宿泊型や通所型の実施に向けて検討しているところである。

利用制限を2回にしている根拠について。

厚生労働省はきめ細かい支援を実施するため利用回数を7日以内としており、産後ケア事業を利用した方からも、利用回数を増やしてほしいとの意見もあり、利用回数の増加について、検討する必要があると考えている。

★市政に期待 産後ケア事業の制度拡充に期待しています。産後のきつい時期にケアをしてもらう事業があることを、多くの市民に知ってもらい、活用してほしいです。

5歳から11歳のコロナワクチン

5歳から11歳のコロナワクチンについて、幼稚園にも子どもたちの接種は専門家の間でも意見が分かれており、本

浦添市にある産後ケア施設
ゼロプレイスさんを見学



市の見解を伺う。

答 弁 薬事承認された場合は一定程度の安全性も担保されていると考えられる。ただし、人によっては副反応が強くなるおそれもあることから、メリット、デメリットをよく理解した上で、接種するか判断いただくことが重要である。

子宮頸がんワクチンの積極勧奨

4月からHPVワクチン(子宮頸がん)の積極勧奨が再開する。重篤な副反応に今も苦しめられている人たちがいる。副反応被害の懸念はないか、那覇市の見解を伺う。

答 弁 厚生労働省の審議会等の中で、接種による有効

★那覇市に望む

子どもの権利条約にあるように、子どもに関する決定をする場合は子どもの最善の利益が考慮されなければなりません。メリット・デメリット



問 HPVワクチン接種は、積極的勧奨が差し控えられた期間も定期接種の対象であり、使用されるワクチンの種類に変更はない。同じものである。

答 HPVワクチン接種は、積極的勧奨が差し控えられた期間も定期接種の対象であり、使用されるワクチンの種類に変更はない。同じものである。

問 前回の積極勧奨中止に至ったときのワクチンから改良されたのか。それとも同じものが今回、安全だと言われて積極勧奨になるということか。

答 接種ありきではなく、本人が立ち止まってしっかり考え選ぶための情報提供を望む。

★市政に望む

子宮頸がんから自分を守るためにはワクチンを受けたとしても、毎年検診を受ける必要があるので、子宮頸がんにかかるリスクとワクチンのリスクを天秤にかけて判断できるように、接種ありきではなく、本人が立ち止まってしっかり考え選ぶための情報提供を望みます。

離婚などによる

養育費確保支援

問 養育費の取決めは、法的拘束力を持たせるためには公正証書を作っておく必要がある。その費用や、話し合いができない場合

答 中核市における有無並びに実施されている場合の費用要件及び必要経費などの情報を収集している。

問 不払いの養育費を自治体から立て替えて回収する。あるいは保証会社が立て替えるための保証料を補助する自治体などもある。情報収集などはしているか。

答 支援事業を実施している。先進市の事例等について、情報を収集しながら、調査、研究を行ってまいりたい。

の裁判所で調停になるなどの費用を助成するなど、養育費確保の動きは全国に広がっている。離婚率の高い沖縄でこそ必要な支援だと思いが、見解を伺う。

★市政に望む

平成30年度の沖縄県ひとり親世帯等実態調査によると、養育費を受け取っていない割合が2割以下という現状で、那覇市の場合、児童扶養手当現況

子どもへの性暴力防止について

問 5月に教職員やコーチなどによる地位や関係性を利用した性暴力について「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が成立した。新法制定を受けて、本市の見解を伺う。

答 性暴力等は、被害者に対して、生涯にわたって回復し難い心理的外傷等を与える重大な人権侵害である。この法律により、過去にわいせつ事案を起こした教員の免許状の再交付の厳格化、学校の措置義務を明確化するなど、未然防止と速やかな被害者保護に寄与するものと考

届が認定されたうち、養育費を受け取っていない世帯は約700世帯で、全体の16.6%ということでした。養育費の確保を個人的な問題とするのではなく、社会の問題として取り組む必要があると感じています。

校へ本法律の趣旨について周知徹底を図っていく。

問 本市における教育職員等による児童生徒への性暴力の懲戒処分等の実態について伺います。

答 過去10年間にわたり、教職員が児童生徒へのわいせつ行為で懲戒処分を受けた事案は、2件。

問 再発防止のための取組は?

答 このような不祥事が二度と起こらないよう、校長連絡協議会等を通して、児童生徒への指導の場では複数人で行うこと、児童生徒と個人的にSNS等のやり取りを行わないことなど、未然防止の徹底を行うよう周知している。また、各学校においてもコンプライアンスリーダーを選出し、教職員の不祥事防止について、定期的に校内研修を開催するなど再発防止に努めている。

★市政に望む

境界線を侵害し、被害者が自分も悪かつ

住宅確保

このほかに、住宅確保要配慮者のための事業について質問しました。障がい者や高齢者、単身世帯などが賃貸契約を

たのではないかと思わせるような状況をつくるのが、立場を利用した性暴力です。この法律では、同意の有無にかかわらず禁止をしています。被害に遭った子は絶対に悪くないということ、教育職員と子どもとの境界線、距離をしっかりと守ることが子どもの人権を守ることにもつながるということを確認してほしいと訴えました。

10万円現金給付

12月6日、ニライ会派から市長に「18歳以下の子どもに対する10万円相当の給付への対応について」の要請をいたしました。子育て世代にとっては全額現金給付がいい！今回、地方の声が国を動かす、那覇市も現金一括給付を決定。会派室で、「やったー」と喜びました。

★新米議員エッセイ★

ニライ会派から9月議会に提出したく「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書」を書いた。国への意見書を市議会として出そうよというものだ。前もって各会派に見てもらい、議会運営委員会を経なければ本会議には出せない。結局、あれこれ調整が整わず、先送りすることになった。

そして、今回の議会。市民からも「選択的夫婦別姓制度を求める意見書の提出を要望する意見書」が提出され、総務委員会が審査することに。私は別の委員会なので、わくわくして採択を待っていたら「継続審査」ということになった。継続して審査するのだから、少し時間が必要であり、またしてもニライからの意見書は先送りになってしまった。そうこうしているうちに国会で「選択的夫婦別姓制度やりますー」となつたらしいなあ。なんて夢見つつ、あきらめずに、取り組みます。

15回那覇市議会報告会 及び 市民との意見交換会

市民の皆さまにご参加頂き、ご意見を拝聴し意見交換をする中で、皆さまと一緒にこれからの那覇市について考えていきたいと思ひます。

★2022年1月26日(水)19時～

- ・牧志駅前ほしぞら公民館ホール、
- ・首里支所会議室 2会場で同時開催

★2022年1月27日(木)19時～

- ・鏡水ふれあい会館 ・真和志支所会議室
- ・なは市民協働プラザ2階会議室1

3会場で同時開催

第1部 「常任委員会審査についての報告」

第2部 「市民との意見交換会」

※第1部、2部全体で90分程度を予定しています。

※開催日において、新型コロナ対策に関する新基準レベル2(警戒強化(感染者数が増加傾向))以上となっている場合は、中止です。

※系数たかこは、1月27日真和志支所の担当議員です。